

令和3年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省R3-35)

施策名	目標7-4 環境保健に関する調査研究				
施策の概要	健康被害をもたらしている可能性が指摘され、国民的な関心は高いが因果関係は科学的には明らかにされていない種々の環境因子について、調査研究を推進する。また、既に明らかになっている知見について、一般に分かりやすく情報提供を行い、必要な対処等を行うよう意識啓発を進める。 ①花粉症や黄砂、紫外線等の健康影響についての実態を明らかにし、必要に応じて適切な対応を検討する。 ②熱中症の健康影響について一般に普及啓発を行うとともに、対策の推進を図る。				
達成すべき目標	花粉症、黄砂、紫外線等の健康影響、熱中症の健康影響について調査研究を進めるとともに、一般への普及啓発や対策の推進を図る。				
施策の予算額・執行額等	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
	当初予算(a)	158	158	192	137
	補正予算(b)	-	-	290	-
	繰越し等(c)	-	-	(275)	
	合計(a+b+c)	158	158	207	
執行額(百万円)	151	134	182		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済財政運営と改革の基本方針 2022(令和4年6月7日) ・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日) 				

測定指標	①黄砂や花粉等の普及啓発資料の改訂回数	基準値	実績値					目標値	達成
		H25年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R3年度	○
		1	2	1	1	0	1	1	
		年度ごとの目標値							
	②熱中症対策シンポジウム等の参加者数(人)	基準値	実績値					目標値	達成
		R元年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	年度	○
		492	-	-	492	-	717	600	
		年度ごとの目標値							
	③熱中症の普及啓発の進捗度(アンケートにおいて暑くなる前から熱中症対策を行ったと回答した自治体の割合)(%)	基準値	実績値					目標値	達成
		H25年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R3年度	×
		89.8	95.5	92	93.5	89	68.1	100	
		年度ごとの目標値							
	④年間の熱中症死亡者数(人)	基準値	実績値					目標値	達成
		R2年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R3年度	○
		1528	-	-	-	1528	701	1000	
		年度ごとの目標値							

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり (判断根拠) ①:黄砂や花粉等に係る基礎知識・予防法等を記載したマニュアル等の各普及啓発資料を、年1回を目安に改訂することを目標としている。令和3年度は花粉の飛散情報や花粉症の基礎知識・予防法等を記載した「花粉症環境保健マニュアル2022」を改訂し、報道機関や国民に情報提供をすることで、花粉症の発症・増悪の予防に資する政策を進めた。 ②:熱中症対策シンポジウムの参加人数については目標を600人以上としており、事前の呼びかけにより達成でき、熱中症予防の指導者が増え、国民の熱中症予防に対する意識付けに貢献できた。 ③:熱中症の普及啓発の進捗度(アンケートにおいて暑くなる前から熱中症対策を行ったと回答した自治体の割合)(%)については令和3年度は100%を目標に設定しており、達成できず、大きく減少した。これは、R2年度までは自発的に意見交換会に参加した自治体(都道府県、政令市、中核市、保健所政令市)(R2年度:179自治体)をアンケート対象としていたのに対し、R3年度は全地方自治体にアンケート対象を拡大した(R3年度:802自治体)ためと考えられ、前年度までとは一概には比較できない。 ④:熱中症死者数については、R3年度は1000人以下を目標としており、達成できた。気候などの影響もあり単年では評価できないが、今後も継続的に1000人以下となるよう、熱中症対策の推進を図りたい。なお、R2年度の1528人は実値であり、R3年度の701人は速報値である。
	施策の分析 次期目標等への反映の方向性	

学識経験を有する者の知見の活用	黄砂や紫外線、花粉症等の健康影響については、有識者による検討会を行った上で資料の改訂を実施している。熱中症対策や「熱中症警戒アラート」等の情報発信について、有識者による検討会を行った上で資料の改訂を実施している。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	①令和3年度 花粉症環境保健マニュアル2022、令和2年度 一般環境中電磁界ばく露に係る情報収集業務報告書、令和元年度 花粉症に関する調査・検討業務、平成31年度 紫外線環境保健マニュアル改訂業務報告書 ②、③熱中症環境保健マニュアル2018、夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン2020、令和3年度地域における効果的な熱中症予防対策の推進に係る業務報告書等 ④人口動態統計
---------------------------	---

担当部局名	環境保健部 環境安全課	作成責任者名	高澤哲也(環境安全課長)	政策評価実施時期	令和4年8月
-------	----------------	--------	--------------	----------	--------